

アニメ×地域おこし協力隊

栃木県下野市地域おこし協力隊

宇佐美 慈



下野市のご当地アニメ「サクラノチカイ」

栃木県をエールすべく結成された「まろに☆えくる」は、とちぎテレビのキャラクターとして誕生し、栃木県の特産であるいちご、ぎょうざ、かんぴょうをモチーフにした3人組のご当地アイドルです。メンバーの一人、かんぴょうをモチーフにしたキャラクター「瓜田瑠梨(うりたるり)」は、かんぴょうの生産量日本一を誇る下野市の出身であることから、市の観光大使に任命されています。また、まろに☆えくるの原作者である漫画家・一葵さやかさん、人気声優の下野紘さんが市の大使になっています。アニメキャラクター、漫画家、声優：これはアニメしかない！と、市のPR事業の一環で、ご当地アニメ「サクラノチカイ」が制作されました。



ご当地アニメ「サクラノチカイ」キービジュアル

サクラノチカイは、下野市出身の歴史上の人物である下野古麻呂(しもつけのこまろ)が現代にタイムスリップし、まろに☆えくらと出会い、恋人の佐久良(さくら)を探すという時空を超えた恋物語です(アニメ本編はYouTubeでご覧いただけます)。また、サクラノチカイの後を描いたマンガを、下野市の歴史を学べる資料集「マンガで分かる！東の飛鳥【下野市】の歴史」として販売しています。このマンガのボイスコミックが今秋完成予定で、こちらもYouTubeにて配信します。



マンガで分かる！東の飛鳥【下野市】の歴史

近年、聖地巡礼などアニメツーリズムが注目され、アニメを観光やPRに活用することが全国各地で行われています。下野市が他の自治体と異なるのは、市が独自でアニメを制作している点です。一般的には、人気のある既存のアニメと自治体がコラボをすることが多く、アニメそのものに人気があり、それを自治体が観光やPRに活用しています。下野市ではアニメを制作するところから始め、市のPRや観光に活用しているため、アニメを活用すると同時にアニメやキャラクターの知名度を上げていくことも必要であり、ある意味で挑戦的で面白い取組を行っています。

観光×アニメ×協力隊Ⅱ下野市

私が下野市の協力隊になったのは、サクラノチカイをたまたまYouTubeで見たのがきっかけです。市がアニメの制作をしていることが全国的に珍しいことから興味を持ちはじめ、調べてみると、アニメを活用した観光PR事業の協力隊員を募集していることを知りました。以前から熊谷市で観光イベントのボラン



ティアアをしていただくことから、いつか観光の仕事に携わりたいと考えており、また、『君の名は。』をきっかけにアニメが好きになっていった私は「これだ!」と思いました。

協力隊として着任し、市の観光協会に配属されるとすぐに、サクラノチカイの宝探しイベントを任せられました。正直、右も左もわからない状態でしたが、参加者の子どもたちが楽しそうにイベントに参加している様子が印象的でとても嬉しかったです。

また、アニメイベントに出展し、グッズの販売やステージでのPRを行いました。イベントに出展すると、多くのえら〜さん（まろに☆えら〜るのファン）と知り合うこともできました。みなさんとても親切で、まろに☆えら〜るのことはもちろん、下野市のことについても教えてくれます。今では観光協会のコミュニティスペースが、会いに来てくれたファンのみなさんとの情報交換の場になっており、そこで出されるアイデアや意見が新商品開発のヒントにもなっています。

はじめて手掛けた商品

下野市観光協会では、様々なアニメグッズや店舗とのコラボ商品を作り、販売しています。協力隊としてはじめて手掛けた商品が、瑠梨ブランドドリップコーヒードです。この商品は、一葵さやかさんに監修

をお願いし、瑠梨のツンデレキャラをイメージしたブレンドを考え、自家焙煎真岡珈琲ソワカフエと共同開発した商品です。



袋詰めも心を込めて手作業で

この瑠梨ブレンドは、冷たくするとツンツン（酸味）、温めるとデレデレ（コク）が強くなる文字通りツンデレのコーヒードで、その日の気分によって、ツンデレ度合いを変えられます。ファンの方に喜んでもらえるよう、パッケージや同封する商品の紹介カードを製作しました。ファンの皆さんにも好評で、初回販売はすぐに売り切れてしまいました。お土



パッケージイラストは全4種類

今後の取組について

現在、サクラノチカイ（瓜田瑠梨）のファンクラブの設立を目指しています。通常のファンクラブとしてだけではなく、ファンの力を地域活性化に活用していきたいと考えています。アニメイベントや地域イベントのお手伝いをしてもらい、今まで参加していたイベントを裏側から見てもらうことで、下野市により親しみを持つてもらうだけでなく、参加した方には限定オリジナルグッズをプレゼントすることでより参加意欲を高めます。このように、アニメを通して多くの方を下野市の関係人口にしていきたいです。

協力隊という立場だからこそ、ファンと直接やり取りができ、ファンにとつて身近な存在となることができ、協力隊としての強みを生かし、今後アニメ、マンガなどサブカルチャーを活用したまちづくりに取り組みます。



下野市ご当地キャラカンビくんと一緒にPR